

住宅用家屋証明申請書 兼 証明書

<記入例>

建築後使用されたことのないもの
(建売住宅・マンション)

租税特別措置法施行令

(イ)第41条

特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外

(a)新築されたもの

(b)建築後使用されたことのないもの

特定認定長期優良住宅

(c)新築されたもの

(d)建築後使用されたことのないもの

認定低炭素住宅

(e)新築されたもの

(f)建築後使用されたことのないもの

(ロ)第42条第1項(建築後使用されたことのあるもの)

特定認定長期優良住宅又は認定低炭素住宅以外の場合は(イ)の(b)、
特定認定長期優良住宅の場合は(イ)の(d)、
認定低炭素住宅の場合は(イ)の(f)に○をする。

築等がされた

の規定に基づき、次の家屋がこの規定に該当するものである旨の証明を申請します。

来庁日を記入

年 月 日

福山市長 様

申請者 住所

福山市〇〇〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

持分があれば持分を記入
持分 〇分の〇

名前

福山 太郎

代理人 住所

福山市〇〇〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号

申請者本人が来庁する
場合は代理人の記入は
不要

名前

広島 次郎

所在地	福山市〇〇町字 〇〇〇〇番地	登記完了証等のとおり
家屋番号	〇〇〇〇番	
建築年月日	年 月 日	記入不要
取得年月日	〇〇年 〇月 〇日	原因証書による
取得の原因	(1)売買 (2)競落	移転登記の場合どちらかに○
申請者の居住	(1)入居済 (2)入居予定	住民票による
床面積	1階 〇〇.〇〇㎡ 2階 〇〇.〇〇㎡	登記完了証等のとおり
区分建物の耐火性能	(1)耐火又は準耐火(2)低層集合住宅	区分建物の場合どちらかに○
工事費用の総額	円 (ロ)(a)の場合に記入)	
売買価格	円 (ロ)(a)の場合に記入)	

上記のとおり相違ないことを証明します。